

2021.11.12

 **センコーグループホールディングス株式会社**

**2022年3月期
第2四半期決算の概要**



決算発表のポイント



(1) 2022年3月期 第2四半期決算について

- ・ 対前年 273 億円増収、20.6 億円営業増益、22 億円経常増益。
- ・ 公表対比では、32 億円減収、6 億円営業増益、8.6 億円経常増益。

(2) 2022年3月期 業績予想について

- ・ 売上高 6,250 億円、営業利益 252 億円、経常利益 256 億円、当期純利益 148 億円を計画。
- ・ 5月公表対比では、営業利益・経常利益共 6 億円増益、当期純利益 3 億円増益。

(3) 配当について

- ・ 中間配当を予想 15 円から 2 円増配の 17 円に修正。（年間 32 円）

第1部

2022年3月期

第2四半期決算の概要について

1. 2022年3月期 第2四半期 業績の概要



(百万円, %)

(参考)

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		前年同期比		増減額	
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率	4-6月期	7-9月期
売上高	273,449	—	300,762	—	27,313	10.0	14,771	12,541
営業利益	9,641	3.5	11,705	3.9	2,063	21.4	1,863	200
経常利益	9,767	3.6	11,964	4.0	2,196	22.5	2,183	13
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,726	2.1	6,955	2.3	1,228	21.5	1,081	147

2. 2022年3月期 第2四半期 業績の概要【売上高】

SENKO

前年同期比 273 億円増収 10.0%増

● 売上拡大効果	+	145 億円
● M&A	+	281 億円
● 料金・価格改定	+	4 億円
● 既存物量増減	+	54 億円
● 収益認識基準適用影響	△	211 億円

3. 2022年3月期 第2四半期 業績の概要【利益】

前年同期比 経常利益 22.0 億円 増益 22.5%増

● 売上拡大効果	+	16.1	億円		
● コスト改善・生産性向上	+	13.8	億円		
● 料金・価格改定	+	4.3	億円		
● 既存物量増減	+	11.9	億円		
				⇒	+46.1 億円
● 燃料単価影響	△	10.4	億円		
● 経費復元	△	3.5	億円		
● ベア影響	△	3.0	億円		
● 備車（含む作業賃）コスト増加	△	1.6	億円		
● M&A	△	0.8	億円		
● その他コスト増減	△	6.2	億円		
				⇒	△25.5 億円
● 営業利益				⇒	+20.6 億円
● 営業外収支				⇒	+1.4 億円
● 経常利益				⇒	+22.0 億円

4. 4-6月期と7-9月期の対前年増減要因の比較

(億円)

	①4-6月期		②7-9月期		②-①		②-①の注釈
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益	
売上拡大効果	71	8.6	74	7.5	2	△ 1.1	1Qでフリートが終了した倉庫影響など
コスト改善・生産性向上		7.9		5.9		△ 2.0	前年2Qより取り組みが加速したため
M&A	157	0.3	124	△ 1.1	△ 34	△ 1.3	売上:収益認識基準の見直し(2Qで洗替)△33 利益:取引先工場が例年8月長期お盆休業の会社あり
料金・価格改定	3	2.5	2	1.8	△ 1	△ 0.7	1Q、2Q共に計画通り
燃料単価影響		△ 5.0		△ 5.4		△ 0.5	燃料単価上昇
経費復元		△ 2.0		△ 1.5		0.5	
ペア影響		△ 1.5		△ 1.5		△ 0.1	
その他コスト増減		△ 1.4		△ 4.8		△ 3.4	DD費用増3.0
前年度コロナ影響復元	76	21.2	47	12.2	△ 29	△ 9.0	
今年度コロナ影響	△ 15	△ 4.6	△ 23	△ 6.7	△ 8	△ 2.2	ファッション系会社の影響増など
通常物量増減	△ 28	△ 6.7	△ 4	△ 3.5	24	3.2	
既存物量増減	33	10.0	21	1.9	△ 13	△ 8.0	
備車(含む作業賃)コスト増加		△ 0.7		△ 0.9		△ 0.2	1Q、2Q共に計画通り
収益認識基準適用影響	△ 117		△ 94		23		収益認識基準の見直し(2Qで洗替)+33
計	148	18.6	125	2.0	△ 22	△ 16.8	

5. 2022年3月期 第2四半期 分野別売上高の概要



(億円, %)

	2021年3月期 第2四半期 (前期)	2022年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比		前年同期比 内訳					
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A	収益認識 基準適用 影響	物量増減 他	
物 流 事 業	食 品 物 流	388	408	20	5.3	9		3	-	8
	チェーンストア物流	394	414	21	5.2	25	1	-	-	△ 5
	ファッション物流	235	240	6	2.4	11		-	-	△ 6
	そ の 他 物 流	99	170	71	71.6	9		68	△ 16	9
	流通ロジスティクス	1,116	1,233	117	10.5	54	2	71	△ 16	6
	住 宅 物 流	286	300	13	4.7	13	1	-	-	△ 1
	ケ ミ カ ル 物 流	350	407	57	16.3	16	1	20	2	17
	そ の 他 物 流	128	145	17	13.2	8			-	8
	物 流 事 業	1,881	2,085	205	10.9	92	4	91	△ 14	31
商 事 ・ 貿 易 事 業	775	750	△ 25	△ 3.3	36	-	101	△ 194	31	
そ の 他 事 業	78	172	94	119.3	17	-	88	△ 4	△ 7	
合 計	2,734	3,008	273	10.0	145	4	281	△ 211	54	

※上記に含む国際関係売上

国 際 関 係 売 上	物 流 事 業	119	184	66	55.6
	商 事 ・ 貿 易 事 業	132	155	23	17.6
国 際 関 係 売 上		251	340	89	35.5
売 上 高 構 成 比 (%)		9.2%	11.3%		

※顧客ならびに新規連結会社の業容を再精査し、分類先を見直しております。

6. 2022年3月期 第2四半期 セグメント別業績の概要 (1) **SENKO**

(1) 物流事業

(百万円, %, PT)

	2021年3月期 第2四半期 (前期)	2022年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	188,068	208,540	20,471	10.9
営業利益	8,559	10,883	2,323	27.2
営業利益率	4.6	5.2	0.7	-

▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
売上拡大効果	92	12.6
M&A	91	2.1
既存物量増減	31	11.7
コスト改善・生産性向上		12.4
燃料単価差影響		△ 10.4
その他	△ 9	△ 5.2
計	205	23.2

前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少した物量の回復が見られる中、
 拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、前期に実施したM&Aの収益寄与があった
 ことなどにより、増収増益。

7. 2022年3月期 第2四半期 セグメント別業績の概要 (2) **SENKO**

(2) 商事・貿易事業

(百万円, %, PT)

	2021年3月期 第2四半期 (前期)	2022年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	77,534	75,010	△ 2,523	△ 3.3
営業利益	1,461	1,372	△ 88	△ 6.1
営業利益率	1.9	1.8	△ 0.1	-

▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	101	0.6
収益認識基準適用影響	△ 194	
既存増減	31	△ 2.7
売上拡大他	36	1.2
計	△ 25	△ 0.9

4月に家庭紙卸売のアズフィット株式会社を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、収益認識会計基準の適用影響、燃料販売における仕入単価の上昇などにより、減収減益。

8. 2022年3月期 第2四半期 セグメント別業績の概要 (3) **SENKO**

(3) その他事業

(百万円, %, PT)

	2021年3月期 第2四半期 (前期)	2022年3月期 第2四半期 (当期)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,846	17,211	9,364	119.4
営業利益	△ 26	△ 106	△ 79	-
営業利益率	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.3	-

▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	88	△ 3.5
売上拡大他	6	2.7
計	94	△ 0.8

2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内株式会社を連結子会社化するとともに、
 拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を
 受けたことなどにより、増収減益。

9. 対5月公表



(百万円, %)

	2022年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		計画比	
	計画 (5月公表)	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	304,000	—	300,762	—	△ 3,238	△ 1.1
営業利益	11,100	3.7	11,705	3.9	605	5.5
経常利益	11,100	3.7	11,964	4.0	864	7.8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,500	2.1	6,955	2.3	455	7.0

※売上高差異要因：収益認識基準適用影響△34.2億円

10. 2022年3月期 第2四半期 連結貸借対照表



(億円)

資産の部			負債・純資産の部		
科目	増減	摘要	科目	増減	摘要
流動資産合計	1,639.5	0.5	流動負債合計	1,283.1	△ 54.1
現金及び預金	△ 11.4		電子記録債務	5.7	
受取手形、営業未収入金及び契約資産	5.4		短期借入金	△ 5.2	
電子記録債権	7.5		リース債務	5.4	
たな卸資産	△ 3.4		未払法人税等	△ 13.9	
その他	2.5		賞与引当金	5.4	
			その他	△ 51.4	
固定資産合計	2,899.9	178.1	固定負債合計	1,772.3	210.0
有形固定資産※		※主な設備投資	社債	99.8	
建物及び構築物	33.1	岐阜羽島PDセンター	長期借入金	79.3	
土地	53.1	泉南PDセンター	長期リース債務	17.0	
その他	58.0	岩槻物流センター	その他	13.9	
無形固定資産	32.1	湾岸弥富PDセンター	負債合計	3,055.3	155.9
投資その他の資産			純資産合計	1,484.0	22.8
投資有価証券	3.4		資本金	265.6	
その他	△ 1.6		資本剰余金	295.8	△ 2.2
			利益剰余金	859.6	47.4
繰延資産合計	0.0	0.0	自己株式	△ 81.4	△ 35.0
			非支配株主持分他	144.3	12.6
資産合計	4,539.3	178.7	負債及び純資産合計	4,539.3	178.7

※自己資本比率
(前期末) 30.9%
(当期末) 30.0%

有利子負債	1,835.5	173.6	※ネットD/Eレシオ (前期末) 0.84倍 (当期末) 0.97倍
-------	---------	-------	--

1 1. 2022年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

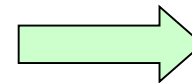


(億円)

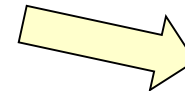
	2021年3月期 第2四半期 (前期)	2022年3月期 第2四半期 (当期)
営業活動による キャッシュ・フロー	106.6	121.7
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 101.5	△ 218.5
財務活動による キャッシュ・フロー	156.7	82.6
現金及び現金同等物 の四半期末残高	441.9	491.3



当期の主な内容	
税金等調整前四半期純利益	116.9
減価償却費	93.4
未払債務の減少	△ 25.8
法人税等の支払額	△ 53.9
等	



有形固定資産の取得	△ 159.1
子会社株式の取得	△ 51.7
等	



短期借入金の減少	△ 18.0
長期借入金の増加	88.2
リース債務の返済	△ 24.7
社債の発行	100.0
自己株式の取得	△ 36.3
配当金の支払	△ 22.3
等	

第2部

2022年3月期 通期業績予想

1. 2022年3月期 業績予想【通期】



(百万円, %)

	2021年3月期		2022年3月期		2022年3月期		前年同期比		対5月公表比	
	実績①	利益率	5月公表 計画②	利益率	11月公表 計画③	利益率	③-① 増減額	増減率	③-② 増減額	増減率
売上高	572,405	—	625,000	—	625,000	—	52,595	9.2	—	—
営業利益	21,520	3.8	24,600	3.9	25,200	4.0	3,680	17.1	600	2.4
経常利益	22,230	3.9	25,000	4.0	25,600	4.1	3,370	15.2	600	2.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	14,240	2.5	14,500	2.3	14,800	2.4	560	3.9	300	2.1

2. 2022年3月期 業績予想 業績の概要【売上高】



前年同期比 526 億円増収 9.2%増

● 売上拡大効果	+	293 億円
● M&A	+	544 億円
● 料金・価格改定	+	8 億円
● 既存物量増減	+	87 億円
● 収益認識基準適用影響	△	405 億円

3. 2022年3月期 業績予想 業績の概要【利益】

SENKO

前年同期比 経常利益 33.7 億円 増益 15.2%増

● 売上拡大効果	+	35.4	億円		
● M&A	+	3.0	億円		
● コスト改善・生産性向上	+	24.7	億円	⇒	+ 85.1 億円
● 料金・価格改定	+	7.8	億円		
● 既存物量増減	+	14.2	億円		
● 燃料単価影響	△	22.1	億円		
● 経費復元	△	7.9	億円	⇒	
● ベア影響	△	6.2	億円		
● 傭車（含む作業賃）コスト増加	△	4.0	億円		
● その他コスト増減	△	8.0	億円		
● 営業利益				⇒	+ 36.8 億円
● 営業外収支				⇒	△ 3.1 億円
● 経常利益				⇒	+ 33.7 億円

4. 2022年3月期 業績予想【上期：下期】



(百万円, %)

	2022年3月期				前年同期比			
	上期		下期		上期		下期	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	300,762	—	324,238	—	27,313	10.0	25,282	8.5
営業利益	11,705	3.9	13,495	4.2	2,063	21.4	1,617	13.6
経常利益	11,964	4.0	13,636	4.2	2,196	22.5	1,174	9.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,955	2.3	7,845	2.4	1,228	21.5	△ 668	△ 7.8

5. 2022年3月期 業績予想 【上・下の対前年増減要因】



(億円)

	上期実績		下期計画		年間計画	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上拡大効果	145	16.1	148	19.3	293	35.4
コスト改善・生産性向上		13.8		10.9		24.7
M & A	281	△ 0.8	263	3.8	544	3.0
料金・価格改定	4	4.3	4	3.5	8	7.8
燃料単価影響		△ 10.4		△ 11.7		△ 22.1
経費復元		△ 3.5		△ 4.4		△ 7.9
ベア影響		△ 3.0		△ 3.2		△ 6.2
その他コスト増減		△ 6.2		△ 1.8		△ 8.0
既存物量増減	54	11.9	33	2.3	87	14.2
傭車(含む作業賃)コスト増加		△ 1.6		△ 2.4		△ 4.0
収益認識基準適用影響	△ 211		△ 194		△ 405	
計	273	20.6	253	16.2	526	36.8
前年度コロナ影響復元	123	33.4	82	12.1	205	45.5
今年度コロナ影響	△ 38	△ 11.3	△ 42	△ 6.4	△ 79	△ 17.7
通常物量増減	△ 32	△ 10.2	△ 7	△ 3.4	△ 39	△ 13.6
既存物量増減 計	54	11.9	33	2.3	87	14.2

6. 対5月公表 差異要因



(億円)

	対5月公表比 増減額 上期		対5月公表比 増減額 下期		対5月公表比 増減額 年間	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上拡大効果	△ 6	△ 2.5	4	1.9	△ 2	△ 0.6
コスト改善・生産性向上		2.3		0.6		2.9
M & A	△ 4	△ 4.6	30	△ 0.6	25	△ 5.2
料金・価格改定	1	0.9	1	0.8	2	1.7
燃料単価影響		△ 3.5		△ 7.8		△ 11.3
経費還元		0.9		△ 0.1		0.8
ベア影響						
その他コスト増減		△ 0.8		△ 1.1		△ 1.9
既存物量増減	11	12.8	11	6.5	22	19.3
備車(含む作業賃)コスト増加		0.4		△ 0.2		0.2
収益認識基準適用影響	△ 34		△ 14		△ 48	
計	△ 32	6.0	32			6.0

7. 2022年3月期 分野別売上高予想【通期】

(億円, %)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前年同期比		前年同期比 内訳				
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A	収益認識 基準適用 影響	物量増減 他
食品物流	773	816	43	5.6	21		8	-	14
チェーンストア物流	799	851	52	6.6	54	2		-	△ 3
ファッション物流	486	495	9	1.8	32		-	-	△ 24
その他物流	238	380	143	60.0	24	1	139	△ 36	15
流通ロジスティクス	2,295	2,542	247	10.8	131	3	147	△ 36	2
住宅物流	583	604	22	3.7	28	2	-	-	△ 8
ケミカル物流	735	840	105	14.3	42	2	41	2	17
その他物流	261	290	29	11.2	27	1		-	2
物流事業	3,874	4,277	403	10.4	228	8	188	△ 33	12
商事・貿易事業	1,618	1,581	△ 38	△ 2.3	42	-	206	△ 361	76
その他事業	232	393	160	69.1	23	-	149	△ 10	△ 1
合計	5,724	6,250	526	9.2	293	8	544	△ 405	87

※上記に含む国際関係売上

物流事業	252	404	151	60.0
商事・貿易事業	279	311	32	11.4
国際関係売上	531	714	183	34.5
売上高構成比 (%)	9.3%	11.4%		

(注) Air Roadの分類先を流通ロジスティクス内で5月公表チェーンストア物流で37億円から今回その他物流で47億円に見直しております。

※顧客ならびに新規連結会社の業容を再精査し、分類先を見直しております。

8. セグメント別業績予想の概要（1）

（1）物流事業

（百万円，%，PT）

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	前年同期比 増減	対5月公表比 増減
売上高	387,350	427,660	40,310	4,220
営業利益	19,401	22,810	3,409	910
営業利益率	5.0	5.3	0.3	0.1

▼主な増減要因

（億円）

	前年同期比 増減		対5月公表比 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上拡大効果	228	30.9	12	3.3
M&A	188	3.7	39	1.2
既存物量増減	12	13.4	15	17.9
コスト改善・生産性向上		22.4		0.6
燃料単価差影響		△ 22.1		△ 11.3
その他	△ 26	△ 14.2	△ 24	△ 2.6
計	403	34.1	42	9.1

9. セグメント別業績予想の概要（2）

（2）商事・貿易事業

（百万円，%，PT）

	2021年3月期 （実績）	2022年3月期 （計画）	前年同期比 増減	対5月公表比 増減
売上高	161,820	158,060	△ 3,760	△ 2,100
営業利益	3,035	3,060	25	10
営業利益率	1.9	1.9		

▼主な増減要因

（億円）

	前年同期比 増減		対5月公表比 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
M&A	206	1.7	3	△ 1.9
収益認識基準適用影響	△ 362		△ 24	
既存増減	76	△ 3.2	△ 4	0.7
売上拡大他	42	1.7	4	1.3
計	△ 38	0.2	△ 21	0.1

10. セグメント別業績予想の概要 (3)



(3) その他事業

(百万円, %, PT)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	前年同期比 増減	対5月公表比 増減
売上高	23,235	39,280	16,045	△ 2,120
営業利益	△ 61	240	301	△ 340
営業利益率	△ 0.3	0.6	0.9	△ 0.8

▼主な増減要因

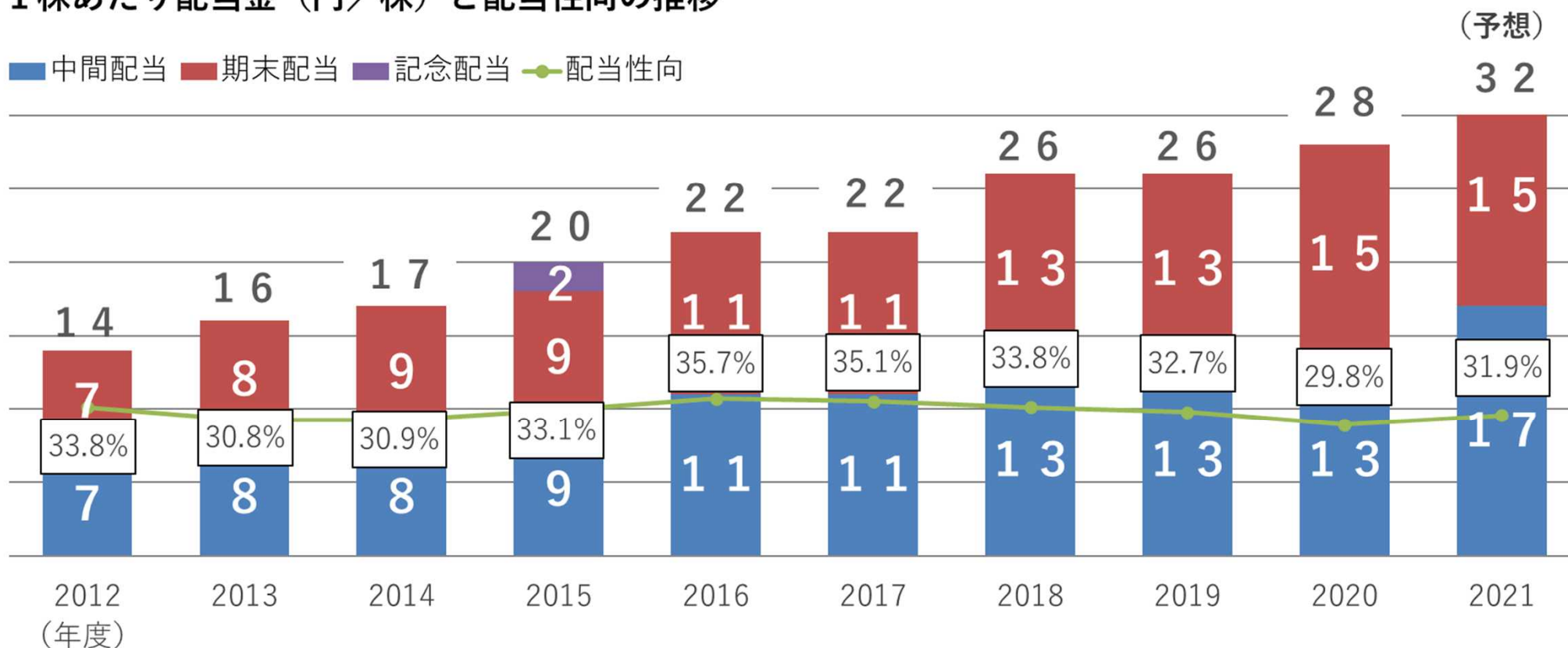
(億円)

	前年同期比 増減		対5月公表比 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
M&A	149	△ 2.4	△ 16	△ 4.5
売上拡大他	12	5.4	△ 5	1.1
計	160	3.0	△ 21	△ 3.4

1 1. 配当金について



1株あたり配当金（円／株）と配当性向の推移



1 2. 2022年3月期の設備投資計画

① 設備投資計画

(百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	計
連結	37,625	21,227	18,205	33,322	29,781	140,160

※設備保証金含む

■ 設備投資額（計画）の内訳

(百万円)

	2022年3月期 一般設備投資額（計画）				合計
	車両関係	荷役機器・ その他生産設備	大型設備	非生産設備 (EDP関連他)	
連結	7,184	4,473	16,248	1,876	29,781

② 減価償却費

(百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
連結	12,439	14,334	15,565	17,419	19,491

第3部

2022年3月期

主な事業活動について

1. 本年度稼働の物流センター

2021年度

栗橋PDセンター

所在地	埼玉県加須市
稼働日	2021年2月
延床面積	29,484㎡ (賃借倉庫)
取扱品例	EC(家電)事業者様 食品加工メーカー様 他



岐阜羽島PDセンター

所在地	岐阜県羽島市
稼働日	2021年5月
延床面積	30,513㎡
取扱品例	ドラッグストア様 樹脂製品メーカー様 他



印西第2ロジスティクスセンター

所在地	千葉県印西市
稼働日	2021年11月
延床面積	24,762㎡ (賃借倉庫)
取扱品例	スポーツ用品 メーカー様 他



泉南PDセンター

所在地	大阪府泉南市
稼働日	2022年3月
延床面積	32,689㎡ (自社開発)
取扱品例	アパレルメーカー様 食品加工メーカー様 他



2. 今後の物流センター開設計画

2022年度以降

2021年10月現在の計画

拠点名	所在地	稼働予定日	延床面積	備考
①岩槻物流センター	埼玉県さいたま市	2022年4月	27,041 m ²	自社開発
②京葉PDセンター	千葉県市原市	2022年10月	29,509 m ²	
③湾岸弥富PDセンター	愛知県弥富市	2023年4月	44,739 m ²	
④浦和大門物流センター	埼玉県さいたま市	2023年4月	75,649 m ²	自社開発
⑤新小牧第2PDセンター	愛知県小牧市	2024年10月	59,049 m ²	
《5月公表後計画案件》				
⑥葛西第2PDセンター	東京都江戸川区	2022年5月	19,924 m ²	賃借倉庫
⑦西関東物流センター	神奈川県綾瀬市	2022年8月	53,860 m ²	賃借倉庫
⑧金沢第2PDセンター	石川県白山市	2023年4月	32,127 m ²	自社開発
⑨日向PDセンター2号倉庫	宮崎県日向市	2023年4月	23,450 m ²	
⑩湘南支店自動倉庫増設（ランテック）	神奈川県伊勢原市	2024年1月	12,876 m ²	
計			378,224 m ²	

3. 営業拡大のポイント（1） 進捗状況



【流通ロジスティクス】

① ドラッグストア向け物流の拡大

⇒西関東地区 大型物流センターの運営（2022年8月～）

② ディスカウントストア向け物流の拡大

⇒海外出店への物流対応

③ スポーツアパレル向け物流の拡大

⇒大手スポーツメーカー様 2社の東日本拠点の運営（2021年11月～
2022年 7月～）

④ EC物流の拡大

⇒ 3拠点で増床

⑤ 三温度帯チェーン物流の拡大

⇒ 神奈川エリア スーパーマーケット向け

庫内・配送業務を本稼働（2021年9月～）

【住宅・ケミカル物流】

①蓄電池物流の拡大

⇒全国7拠点で保管・輸配送業務開始（2021年8月～）

②3PLの拡大

⇒大手住宅設備機器メーカー様の物流業務を全面受託

（2022年8月～）

6. M&Aの推進



		会社名	事業内容	連結時期 (P/L)
物流事業		Air Road	オーストラリア国内 貨物自動車運送事業 倉庫事業	2021年10月～
商事・貿易事業		アズフィット(株)	家庭紙卸売業	2021年4月～
		(株)カルタス	家庭紙卸売業	2022年4月～予定
その他事業	ライフサポート事業	ダイヤクリーニング(株)	クリーニング事業 コインランドリー事業	2022年1月～予定
	ビジネスサポート事業	(株)セルフ・グロウ	外国人人材派遣事業 技能実習生の監理・研修事業	2022年1月～予定

7. 環境への取り組み

『第22回物流環境大賞』で3件受賞

◆低炭素物流推進賞（株）ランテック

宮崎県から関西地区へのブロイラー輸送を海上輸送へモーダルシフト。

◆サステイナブル活動賞（株）ランテック

「ハイブリッド電動式冷凍機」の開発など先進機器を導入。

◆特別賞（センコー株）

北海道から西日本エリアへの酪農機器輸送を海上輸送へモーダルシフト。

第4部

現中期経営計画の進捗状況と 今後の経営の考え方について

1. 主要な中期経営目標

			2017/3期	2022/3期		増減	
			①実績	②中計目標	③見通し	③-①	③-②
規模	売上高	億円	4,554	7,000	6,655	2,101	△ 345
	営業利益	億円	171	280	252	81	△ 28
収益性	営業利益率	%	3.8	4.0	3.8		△ 0.2
生産体制	物流センター保管面積	万㎡	322	400	395	73	△ 5
	自社車両台数	台	4,426	6,700	6,370	1,944	△ 330
安定性	ネット有利子負債	億円	580	966	1,322	742	356
	債務償還年数	年	2.1	2.2	3.0	0.9	0.8
	ネットD/Eレシオ	倍	0.58	0.64	0.97	0.4	0.3
	自己資本	億円	1,003	1,501	1,362	359	△ 139
	自己資本比率	%	35.1	40.2	30.0	△ 5.1	△ 10.2
	ROE	%	9.5	10.5	10.9	1.4	0.4

※2022/3期売上高見通し及び収益性は、収益認識会計基準の適用前に戻した値で算定。

※生産体制及び安定性算定時のB/S数値は、2021年9月末実績を適用。

2. セグメント別・分野別目標（1）



(億円,PT)

			2017/3期	2022/3期		増減	
			①実績	②中計目標	③見通し	③-①	③-②
物流 事業	売上 高	流通ロジスティクス	1,776	2,850	2,578	802	△ 272
		食品物流	652	1,089	816	164	△ 273
		ファッション物流	441	450	495	54	45
		チェーンストア物流他	683	1,311	1,267	584	△ 44
		住宅物流	609	650	604	△ 5	△ 46
		ケミカル物流	511	750	837	326	87
		その他物流	284	300	290	6	△ 10
		計	3,180	4,550	4,310	1,130	△ 240
		営業利益	134.2	200.3	228.1	93.9	27.8
		(%)	4.2	4.4	5.3	1.1	0.9

※2022/3期売上高見通しは、収益認識会計基準の適用前に戻した値で算定。

3. セグメント別・分野別目標（2）

(億円,PT)

		2017/3期 ①実績	2022/3期		増減	
			②中計目標	③見通し	③-①	③-②
商事 貿易 事業	売上高	1,329	1,850	1,942	613	92
	営業利益	32.1	48.0	30.6	△ 1.5	△ 17.4
	(%)	2.4	2.6	1.6	△ 0.8	△ 1.0
その 他 事業	売上高	46	600	402	356	△ 198
	営業利益	8.7	34.7	2.4	△ 6.3	△ 32.3
	(%)	19.0	5.8	0.6	△ 18.4	△ 5.2
合計	売上高	4,554	7,000	6,655	2,101	△ 345
	営業利益	171	280	252	81	△ 28
	(%)	3.8	4.0	3.8		△ 0.2
国際事業売上		266	700	591	325	△ 109

※2022/3期売上高見通しは、収益認識会計基準の適用前に戻した値で算定。

※国際事業売上は現中計編成時と同等の基準で集計。

4. 今後の経営の考え方について

① その他事業における多角化のねらい、背景について

- ・ 企業理念の具現化
- ・ 物流を中核機能、強みとした展開
- ・ 全体の収益性向上への寄与

② 次期中期経営計画の方向性について

- ・ 成長路線の継続と一段の収益性アップ

会社勢力（2021年9月30日現在）



グループ会社数 (非連結15社含む)	物流事業	118	社
	商事・貿易事業	16	社
	ライフサポート事業	10	社
	ビジネスサポート事業	10	社
	合 計	154	社
グループ車両台数	(ヘッドのみ)	6,370	台
	(トレーラー含む)	7,812	台
所有船舶数	(社船)	40	隻
支配下船舶数	(社船含む)	71	隻
総保管面積	(雑倉庫等含む)	395	万m ²
グループ従業員数	(パート等除く)	20,642	人

SENKO

Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。